



令和8年4月  
みどり幼稚園

### ご入園・ご進級おめでとうございます。

園庭にクロッカスが咲き、子どもたちが球根を植えたチューリップもすくすくと葉を伸ばしています。

4月、いよいよ新しい園生活が始まります！春のやわらかな光が子どもたちの期待と不安の入り混じった気持ちを元気づけてくれています。

9日は始業式、翌日はたんぽぽ組10名を迎えての入園式です。お父さん、お母さんに手を引かれ、少し大き目の制服を着て登園してくる入園式は特別な日です。子どもたちが、おとなになった時、この瞬間はおそらく、覚えていないと思いますが、ご両親にとっては子育ての節目として心に残る日であると思います。ご家庭と幼稚園とでお子さんの健やかな成長を願いながら、生きる力の基盤をとともに育てまいると思います。

### 4月の園生活を通して

☆一日の生活の仕方をていねいに繰り返し身に付けます。

年中・年長組は進級した喜びを味わいながら、園生活に積極的に関わっていきます。

☆先生といることに安心感をもち、おともだちと遊ぶ楽しさを味わえるようにします。

### 1年間を通して

☆青森県の子どもたちは全国的な調査からみると肥満傾向の子どもが多く、視力も全国平均よりよくないことがわかっています。十分に体を動かす気持ちよさを体験できるよう子どもたちの発達段階に合わせて多様な遊びを工夫していきたいと思います。

☆**睡眠**についてのお願いです。

3歳から5歳の子どもの必要とされる睡眠時間は**10～13時間**です。十分な睡眠はよく働く脳をつくります。寝る時になったら部屋を暗くして、ゲーム・スマホ等は見せないようにしましょう！

### 東北地区私立幼稚園教員研修大会八戸大会が開催されます。

9月4・5日に20年ぶりに八戸大会が開催されることになりました。みどり幼稚園は公開園、6園のうちの1園として公開保育をします。詳しくは総会時にお知らせ致します。

今年度も教職一同、新たな気持ちで充実した一年となるよう力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

園長 正部家 朱美



## 4月の保育目標

- \*園生活に親しみ喜んで登園する
- \*先生や友達に親しみをもつ
- \*園での過ごし方を知り、安心して生活する
- \*所持品の始末ができる
- \*新入園児に思いやりの気持ちをもつ。(進級児)

理事長	正部家 光彦
園長	正部家 朱美
教頭	御子柴 敦子
年少組	たんぽぽ
	御子柴 敦子 (補助) 渡部 美香
年中組	ちゅうりっぷ
年長組	ばら
子育て支援登園担当	吹切 真貴
未就園児教室	全教員
預かり保育	田中文子・全教員
一時預かり保育(2歳児)	吹切 真貴・全教員
グレープシード英語教室	ケヴィン メッツ・正部家 光彦
事務	高橋 恵美子・城前 多加子
運転手	石戸 正明
バス乗務	橋場 みどり
給食・清掃	太田 美也子・阿保有 梨・橋場 みどり



\*どうぞ、よろしくお願い致します。

## 4月の園行事

★園行事の詳細は後ほどプリントでお知らせ致します。

月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11
			始業式 11:30帰り	入園式 (在園児休園)	休園
13	14	15	16	17	18
11:30帰り	給食開始 13:50帰り 家庭訪問開始 旧役員会				預かり保育
20	21	22	23	24	25
	避難訓練		英語教室 (年中組) (年長組)		休園
27	28	29	30	水筒もお持ちください。	
	親子ふれあい ディ 父母の会総会	昭和の日 (休園)	お弁当の日 こどもの日の 集会		

# 令和7年度 自己評価報告書

学校法人正栄学園 みどり幼稚園

《実施日》令和8年3月17日(火)・18日(水)

《参加者》正部家・御子柴・齋藤・柳沢・高橋・渡部・吹切

## 1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・最後までやりとげる子

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

○「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの発想を生かす造形遊び	B	△子どもが興味を示すものと保育者が意図的に準備したものが、必ずしも子どもが興味を示さずにいた。 ○朝の自由遊びを盛り上げるためには、保育者の事前準備が必要で、保育者自身も製作するために材料の素材を知ったり道具の扱い方を知ることができた。 ○クラス活動(お店屋さんごっこ、お祭りごっこなど)では、事前に子ども達との話し合いを設けてお互いに意見を出し合い、イメージを共有することができ、一緒に製作活動に取り組めた。
2	発達の特性に応じた運動遊び	C	○長縄遊びでは、年齢に合わせて回すスピードを工夫した。 ○鬼ごっこなどの集団遊びでは、ルールを踏まえながら年齢に応じルールを変えながら楽しめるようにしてきた。 △前半は、運動器具(巧技台・はしごなど)を出して遊んでいたが、後半は出して遊ぶことが少なくなった。 ○年長組は全員、短縄を跳べるようになった。
3	園内研修の充実	B	○それぞれの研修で学んだことを発表し合い共有できた。 △研修した内容を保育に意図的に取り組むことがあまりできなかった。

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

#### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びでは子ども達が何の素材を求めているのか扱いやすいもの、想像をかきたてるものはどんなものか、先を見通して準備をしていきたい。</li> <li>・一人ひとりの『作りたい気持ち』に寄り添うような環境構成や援助の仕方が難しかったため、子ども達の遊びの様子をじっくりと見つめ、どのような言葉かけや援助が必要なのか考えていきたい。</li> <li>・園内研修は、来年の東北大会に向けて、どのようなものを目指して進むか分かり始めてきた気がする。</li> <li>・年長組が短縄に取り組む様子を見て、他学年の子ども達が憧れの気持ちを持ち、興味をもって長縄や短縄に取り組めるようになった。</li> <li>・それぞれの研修で学んだことを共有することができ、充実していた。その学びを保育に生かすにつなげるようにしていきたい。</li> </ul>

#### 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもの発想を生かした造形的な遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎日常の遊びを通して環境設定の見直しをする。</li> <li>◎日頃の保育者の関わりや言葉かけの大切さに気付き、子ども達からの発信をきちんと受け止め、丁寧な対応を心がける。</li> <li>◎生活の中での造形的な遊びに目を向け個々の発想を生かせるような援助をする。</li> <li>◎クラス的环境について朝の打ち合わせの時に発表し合う。</li> <li>◎自由遊びの子ども様子を記録に基づいて週案の時に発表し合う。(エピソードを一人から二人ずつ)</li> </ul>
2	発達特性に応じた運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎運動指針を見直し、発達特性に応じた運動遊びを工夫する。</li> <li>◎発達に応じた運動遊びを指導計画に入れる。</li> <li>◎子ども達が運動遊びを楽しめるように環境を整える。</li> <li>◎腕と足の力をつけるために、雑巾がけを行う(ホールでも)</li> </ul>
3	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎子ども達の造形的な遊びの様子など記録やエピソードを持ち寄り、週案の時に話し合うことで、保育を振りかえる習慣を身につける。</li> <li>◎リトミックや運動遊びを学び合う。</li> <li>◎保護者対応や支援が必要な子への対応の仕方について、研修会に参加したり話し合う機会をもつ。</li> </ul>

令和8年4月8日(水) 学校関係者評価委員会にて

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1)発想を生かす活動で、クルームパペル久保田さんとの活動することにより、美術館での展示を家族で体験する機会を得ることができた。
- (2)先生方、職員の皆さんが笑顔でお声がけをしてくれる。子ども達を大事にしてくれていることが伝わる。先生が子ども達、それぞれのペースに合わせていて、一人ひとりを見て、全員が育つように接している。
- (3)保護者として一年過ごせて楽しかった。一年を通して、子どもが成長したと感じた。何かをつくることも楽しめるようになった。
- (4)発想力の豊かさなど、これまでの積み重ねできっとよい東北大会の公開保育ができると思う。
- (5)子どもの気持ちに寄り添い、子どもたちにやる気を起こさせている様子を何度も見ることができた。また、これからの時代に必要な教育はどんなものか幼稚園として発信していくことは必要であると考えます。
- (6)先生方の笑顔でいつでも誰でも受け入れている感じに好感がもてる。子どもたちと先生との信頼関係もある。その子に合わせて、せかさずに待っている姿は子どもにとっては信じてもらっている安心感をもてる。